



たいいくかい 体育会



しえんいん まつうら みつひろ
(支援員 松浦 潤弥)

れいわ ねん がつ にち (金) たいいく かい がくえん おこな しんがた
令和5年9月22日(金)に体育会が学園グラウンドにて行われました。新型コロナ
えいきょう すうねん む かんきやく じっし こんねんど
ウィルスの影響のため、ここ数年は無観客での実施となっていました。今年度は
やく ねん ゆうかん きやく かい さい おお ほ ごしゅ かた かんけい きかん せん せい が
約4年ぶりに有観客で開催することができ、多くの保護者の方や関係機関の先生方が
らいえん じどう らいえんしゃ おお きんちょう よう す み れんしゅう
来園されました。児童らは、来園者の多さに、緊張する様子も見られましたが、練習
せい か はつき かくじ やくわり まつと さいご いっしょうけんめい えんぎ おこな
の成果を発揮し、各自が役割を全うし、最後まで一生懸命に演技を行うことができ
ました。あつ なか ともかわら ず とちゅう よわ ね は さいご
暑い中にもかかわらず、途中で弱音を吐くことなく、最後までやりきった
こ すがた かんどう にち
子どもたちの姿に感動した1日となりました。



<苦情受付状況>

6月~9月末までの苦情受付は 0件でした。

<ご寄付・ご寄贈>

一般財団法人川西報公会様、夙川地区民生委員様、政令指定都市教職員組合協議会様より
ご寄付をいただきました。ありがとうございました。



清水が丘 学園だより

令和5年10月 第50号

発行
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
兵庫県立清水が丘学園
明石市魚住町清水 2 7 4 4
TEL 078-943-0501 FAX 078-943-6598
<http://www/hwc.or.jp/shimizugaoka/>



体育会 令和5年9月22日 (記事は4P)

子ども達への支援について

次長兼治療課長 前林 忠

新型コロナウイルスの発生から3年余りが経ちました。政府は新型コロナウイルスの感染法上の分類を5月から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げました。それに伴い学園の行事も園内行事に留まることなく、夏休みを利用し「大自然の冒険テーマパーク」ネスタリゾート神戸に日帰り行事を実施しました。異例の猛暑と呼ばれる今夏、熱中症の危険もありましたが、子ども達は様々なアクティビティーを笑顔で満喫することができました。

また6月の授業参観や9月の体育大会では保護者や関係機関職員の方々を招待できました。大勢の大人達が見守る中、小学校演技の「キラキラフラッグダンス」、中学校演技の「学園ソーラン」は見事に躍動感溢れるキラのある動きであり、その真剣な眼差しを目の当たりにした瞬間、子ども達が持つ無限の可能性に心を打たれ、胸

に熱くこみ上げるものを感じました。今、時代の流れは加速度を増し、我々の取り巻く世情は目まぐるしく変化しています。地球温暖化問題、想定外の大自然災害、新たなウイルスの出現、諸外国間の戦争勃発、並びに物価の高騰化等。

しかし、いかなる環境下にあっても子ども達の基本的な本質は古今東西基本的に変わっていないように感じます。日々の経験を通し自分らしい生き方を学びながら大人へと成長していきます。

我々の責務は子ども達の成長をサポートすることです。多感な時期を育ちゆく子ども達のためにスタッフ一丸となり、今後子ども達の気持ちに寄り添った支援を提供できる施設であり続けたいと考えています。



清水フェスティバル

園外行事 (ネスタリゾート神戸)

(支援員 前田 たえ)

今年の清水フェスティバルは、8月9日に三木市にあるネスタリゾート神戸に行ってきました。事前に、各グループでアクティビティを回る順番を決めておき、当日に臨みました。人気アクティビティのスカイ・イーグルでは、両手を広げて滑空するのですが、高所のため「怖い」と言っている児童も、いざスタートすると眼下に広がる自然の景色を楽しんでいました。アスレチックコースのあるスカイジャングルに挑戦したり、ウサギやモルモットに触れて「可愛い」と癒されたり、自分でつかみ取りをした魚を調理してもらって食べたりと、それぞれのグループで楽しみました。台風の影響が心配されましたが、お天気も良く、久しぶりの外出で楽しい一日を過ごしました。



園内行事 (屋台、花火大会)

(支援員 松上 恵伍)

お盆の行事として、8月15日に手作り屋台おやつ、8月16日に花火大会を行いました。手作り屋台おやつでは、フランクフルトやたこせんなどのおやつ、射的や輪投げのゲームを用意しました。食べて遊んでと児童みんなが大満足の1日となりました。花火大会は台風の影響で開催が怪しまれましたが、天候に恵まれ、無事に開催することができました。手持ち花火はもちろんのこと、みんなでアイスを食べながら打ち上げ花火を見ました。あまりする機会がない花火に喜び、大はしゃぎする様子がありました。普段とは違った特別な日を過ごし、児童は大喜びで、良い夏の思い出となりました。



野球部紅白戦

(支援員 末廣 誠)

令和5年7月21日、明石学園のグラウンドを借りて、中学生男子、教育棟の先生、セラピスト、支援員の混合チームで野球の紅白戦を行いました。灼熱のグラウンドの中でみんな大量の汗をかきながら、投げたり、打ったり、走ったり、応援したり、久しぶりの実戦形式の野球を楽しみました。新型コロナウイルスの影響で、しばらく違う施設との試合が無くなっていましたが、これからは徐々に試合が出来るようになると思うので、試合に向けて日々の練習を頑張っていきたいと思います。



小学生虫捕り

(支援員 酒井 崇明)

7月20日に、小学生男子のみんなで虫捕りをしました。木や草に上手に隠れている昆虫を見つけたり捕ったりするのが得意な虫捕り名人もいれば、みんなが知らないような珍しい虫のこともよく知っている昆虫博士もいるなど、今年小学生男子たちはみんな昆虫が大好き。自然がいっぱいの学園内をあちこち探検して、セミやバッタ、蝶だけでなく、タマムシやナナフシなどの珍しい昆虫も、たくさん捕ることができました。



しみやんのほっこりコマ

♪出張ギター部♪

職員から一言 vol.5

清水が丘学園では最近、ギターなどの楽器に興味を持つ子ども達が多いです。そこで、ギターを弾ける職員が教える「出張ギター部」を開催しました。子ども達の上達の速さには目を見張るものがあります。私も負けてられません。

(心理治療士 石井 大海)

